

令和元年 営巣状況

令和元年の十三崖では、3月に上流側の横に細長い巣穴と、整備した巣穴に1つがいずれつが飛来しました。つがいが飛来した整備した巣穴は、以前から使用されていた人工巣穴と同じ位置のものです。この巣穴では、3月下旬に餌の受け渡しや※ディスプレイフライトを行っていましたが、4月に入るとメスが確認できなくなり、その1週間ほど後に、オスも確認できなくなりました。一方、上流側の横に細長い巣穴のつがいは、3月下旬に抱卵に入り、4月下旬にヒナが孵化し、5月下旬に3羽のヒナが巣立ちました。ハヤブサは今年も繁殖し、2羽のヒナが5月下旬に巣立ちました。



ハタネズミの受け渡しをするつがい

※ディスプレイフライト

野鳥が求愛や威嚇を示すために行う飛び方。